

募集期間は、令和2年2月27日（木）から
5月29日（金）17時必着です。

令和2年〇月〇日提出

令和2年度 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム 申請書

1 申請者情報

民俗芸能は、その保存会等の代表者からの推薦書
が別途必要になります。

申請団体名（ふりがな）	
代表者職・氏名	
事務連絡担当者氏名（部署・職）	
（事務連絡担当者）	所在地
	電話番号
	F A X
	E - m a i l
ホームページ	
文化財の場合、国または地方公共団体 による指定等	
国の補助金や芸術文化振興基金、他団 体（地方公共団体等も含む）の補助金 への応募の状況	

必ず連絡が取れる方の連絡先を記載してください。

指定等の名称や、その指定された年月日
も含めて記載してください。

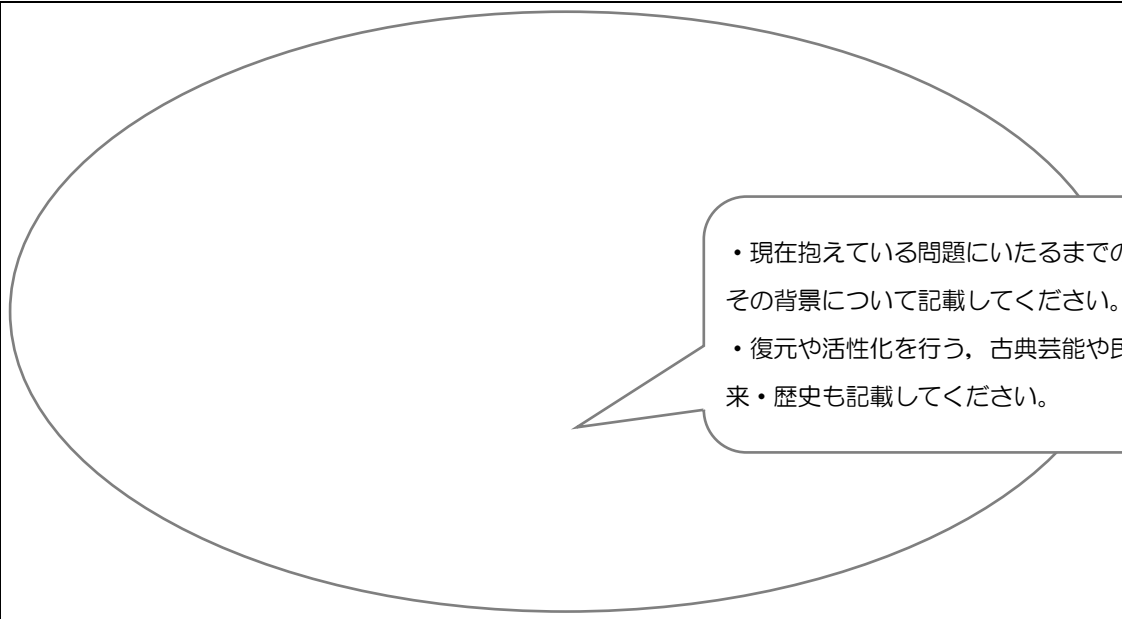
必ず助成金の名称を記載してください。
申請中のものも記載対象です。

2 実施計画の名称（ふりがな）

--

3 「復元」や「活性化」の必要性

(現在どのような問題があるか、緊急性や必要性を踏まえて記載してください。)


<p>・現在抱えている問題にいたるまでの経緯やその背景について記載してください。 ・復元や活性化を行う、古典芸能や民俗芸能の由来・歴史も記載してください。</p>
楽器・用具用品の復元の場合、その所有者を明記してください

4 実施計画概要 (3で述べた問題をどのように解決するか、1～3年間の取組計画)

	想定している事業計画年数	年
目的 (1～3箇年の取組を通じて何を指すのか)		
内容 (具体的にどのような取組をするのか)		

効果 (この取組によって 地域や各芸能分野に どのような効果が期 待されるか)	

5 令和2年度の実施計画

	時期	実施内容 (場所)
スケジュール		
目標 (4の実施計画を 遂行するための今 年度の達成目標)		

4の計画において、令和2年度はどこまで実施するのかを、具体的に記載してください。記入欄が不足する場合は、複数頁にまたがって記載してください

何をもって目標を達成したことになるのか、具体的に分かりやすく記載してください。

外部と連携・協力を行っている内容について、
できるだけ具体的に記入してください。

6 令和2年度の計画の実施にあたり、申請者と連携できる他機関等の協力の状況

	名称	連携・協力内容
企業等	(例)〇〇会社	類似の素材・原材料の提供
大学等の 研究機関	〇〇大学 〇〇研究科	復元に関する学術的助言
団体	〇〇保存団体	継承に向けての助言
地方公共 団体等	〇〇県 〇〇課	〇〇〇
その他, 協力者	〇〇〇 〇〇〇	地域とのコーディネート 取組過程のアーカイブ記録作成

7 今後の計画の概要（実現可能性、継続性を踏まえて記載してください。）

年度	活動内容
令和3年	
令和4年	

8 期待される京都の伝統芸能文化の振興への効果

この取組を実施することで、現在もしくは将来的に京都の伝統芸能文化の振興につながる事が分かるように記載してください。例えば、「その芸能が歴史的に京都と繋がっている」や「将来的に京都の他団体とネットワークを構築したい」など。

9 収支予算書

別紙を記入してください。（プログラム全体に要する収支を記入してください。）